

各教科の基礎基本
生きて働く力

生徒の実態

- 素直で真面目な生徒が多い。
- 協調性があり、仲間を大切にする生徒が多い。
- 授業には落ち着いて取り組んでいる。
- リーダーシップをとる生徒が少ない
- 与えられたことには取り組むが、主体的に学習することが苦手である。
- 自分の意見や思いを表現することが苦手である。

学校教育目標

力行 かいっぱい学ぶ生徒

方正 真面目に考え行動する生徒

錬磨 身も心も鍛える生徒

地域・教育行政・学校の実情

【地域】

- ・自然環境に恵まれ、農業を営んでいる家庭もある。
- ・学校の教育活動に非常に協力的である。

【教育行政・学校】

- ・小学校、高校との連携を意図した三校研など、交流もさかんである。
- ・行政も学校に協力的である。
- ・教職員は若く、意欲にあふれているが、技術、経験に乏しい。

研究で求める生徒像

ア、学習に対する興味、関心を持つことができる。

イ、自ら課題を見つけ、主体的に授業にとりくむことができる。

ウ、自分の考えや思いを、色々な方法で表現することができる。

エ、仲間の考えや思いを認め、よりよい考え方を模索していこうとすることができる。

研究主題

『意欲的に学び、豊かに表現しようとする生徒の育成
～仲間とつながり、練りあい、感動を共有できるような授業をめざして～』

仮説1(学習意欲の向上)

教師側の一方的な教え込みではなく、課題提示の工夫、学習活動、形態の工夫等、生徒が主体的に取り組めるような全員参加の授業を構築すれば意欲的に授業に向かうだろう。

仮説2(表現力の育成)

自分の意見を持つ時間の保障や、ペア・グループ活動の多用、日常的に表現する時間を保証することによって、表現力を育成できるだろう。

研究内容1(学習意欲の向上)

仮説2(表現力の育成)

各教科

道徳

特別活動

総合的な学習の時間

学年・学級経営

〈計画・実践・評価・改善〉

校務分掌

地域に開かれた学校・教育活動

教育環境の整備・活用